

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成20年5月22日(2008.5.22)

【公開番号】特開2006-285130(P2006-285130A)

【公開日】平成18年10月19日(2006.10.19)

【年通号数】公開・登録公報2006-041

【出願番号】特願2005-108496(P2005-108496)

【国際特許分類】

G 0 3 F 1/08 (2006.01)

G 0 1 M 11/00 (2006.01)

H 0 1 L 21/027 (2006.01)

【F I】

G 0 3 F 1/08 T

G 0 3 F 1/08 S

G 0 1 M 11/00 T

H 0 1 L 21/30 5 0 2 P

【手続補正書】

【提出日】平成20年4月3日(2008.4.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

基板上に発生した欠陥を修正する欠陥修正装置において、

前記基板を支持するステージ部と、

前記ステージ部に支持された前記基板全面を撮像するライン照明光源とラインCCDカメラを有する欠陥検出ユニットと、

前記欠陥検出ユニットにより取得された前記基板の画像を処理して前記欠陥を検出して欠陥情報を取得する画像処理手段と、

前記画像処理手段により取得された前記欠陥の位置に移動して欠陥を修正する欠陥修正ユニットと、

前記ステージ部を跨いで架橋され、前記欠陥検出ユニットと前記欠陥修正ユニットを支持する門型支持部と、

少なくとも前記欠陥修正ユニットを前記門型支持部の水平梁部材に沿って移動させる第1の駆動手段と、

前記ステージ部と前記門型支持部を相対移動させる第2の駆動手段と、

を備えたことを特徴とする欠陥修正装置。

【請求項2】

前記欠陥検出ユニットと前記欠陥修正ユニットは、それぞれ個別の前記門型支持部に支持されることを特徴とする請求項1に記載の欠陥修正装置。

【請求項3】

前記欠陥検出ユニットと前記欠陥修正ユニットは、一つの前記門型支持部の水平梁部材の一方の側面と他方の側面に支持されることを特徴とする請求項1に記載の欠陥修正装置。

【請求項4】

前記門型支持部を一对設け、それぞれの門型支持部に前記欠陥検出ユニットと前記欠陥修正ユニットを設け、前記基板の半分の領域に対して欠陥検出と欠陥修正が行えるように前

記一对の門型支持部を独立させて駆動制御することを特徴とする請求項1に記載の欠陥修正装置。

【請求項5】

前記門型支持部に複数種類の前記欠陥修正ユニットを設けたことを特徴とする請求項1乃至4のいずれかに記載の欠陥修正装置。

【請求項6】

ライン照明光源と前記ラインCCDカメラは、前記ライン照明光源から前記基板に向けて所定の入射角度でライン状の照明光を照射し、前記基板からの光を所定の反射角度で前記ラインCCDカメラにより撮像可能な相対位置に配置され、前記入射角度と前記反射角度を調整できるように少なくとも一方を回動可能に設けたことを特徴とする請求項1に記載の欠陥修正装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

本発明は、基板上に発生した欠陥を修正する欠陥修正装置において、前記基板を支持するステージ部と、前記ステージ部に支持された前記基板全面を撮像するライン照明光源とラインCCDカメラを有する欠陥検出ユニットと、前記欠陥検出ユニットにより取得された前記基板の画像を処理して前記欠陥を検出して欠陥情報を取得する画像処理手段と、前記画像処理手段により取得された前記欠陥の位置に移動して欠陥を修正する欠陥修正ユニットと、前記ステージ部を跨いで架橋され、前記欠陥検出ユニットと前記欠陥修正ユニットを支持する門型支持部と、少なくとも前記欠陥修正ユニットを前記門型支持部の水平梁部材に沿って移動させる第1の駆動手段と、前記ステージ部と前記門型支持部を相対移動させる第2の駆動手段とを備える。